

山口新聞

平成 24 年 8 月 10 日 (金)

NO. 18

農地・水・環境

守ろう地域の手で

18



今年も「わく、きれい！」部に位置し、県道益田阿武の音が聞こえてくるほど、線が地域を縦断している。萩市の下小川と中小川の境、咲き誇り、花を眺めるため付近で、「本郷原」と言っ。

本郷井堰農地水保全管理活動組織(萩市)

子供たちが帰ってくる村の夢を追いかけて！

旧田万川町の中央

に通行中の車が止まる光景がたびたび見られる。4月には「菜の花祭り」を開催し、地域の豊作祈願を行っている。祭りの直会では子どもたちに豚汁を提供し、春の陽気なひとときを過ごす。菜の花の中を無邪気に遊び過ごす一日が、景観の保全を行い、子どもたちが帰ってくる村づくりの夢を追いかける。こうした姿に、今の日本の農村の弱さと、飽くなき挑戦を続ける農民の強い心意気を感じる。

農地・水の取り組みを始めて5年が経過した。今後も子どもたちの声がかきまする村づくりを目指したい。

(副会長、美原喜大)

— 金曜日掲載 —

【メモ】代表 宮内敏男
▽会員 37人、農家 27戸、非農家 6戸、生産組合、水利組合、自治会
▽設立 2007年3月31日
▽連絡先 萩市下小川 1189、美原喜大 ☎ 8387・4・0207



会員の皆さん



ふるさとの思い出にと、毎年4月に開かれる「菜の花祭り」